

|       |            |        |        |
|-------|------------|--------|--------|
| 講義名称  | ミクロ経済学 I   | 担当教員名  | 松田 慎一  |
| 科目群   | 社会科学 (SOC) |        |        |
| 科目区分等 | 経済 CA7 DI5 | 単 位    | 2      |
| 対象学年次 | 1年・春学期     | ナンバリング | SOC121 |

|                |   |
|----------------|---|
| 授業のキーワード       | 需要と供給、均衡、市場、経済の効率性  |
| 授業の概要          | この授業は、はじめて経済学を勉強しようとする人を対象として、経済学の基礎となる考え方や見方の修得を目標とします。経済関連科目を受講する人は必ず履修する必要があります。                   |
| 期待される学習成果 (目標) | 1. ミクロ経済学の基本的な考え方を理解できる。<br>2. 需要や供給などの基本的な用語を使い経済について説明できる。<br>3. 本科目は、CD学科の定めるディプロマ・ポリシー2, 4と関係します。 |

| 授業展開 |                      |                                     |
|------|----------------------|-------------------------------------|
| 回    | テーマ                  | 内 容                                 |
| 1    | イントロダクション            | 授業概要の説明と、ミクロ経済学とはどのような学問であるのか解説します。 |
| 2    | トレードオフ、インセンティブなど (1) | 経済学の基本的な考え方を学びます。                   |
| 3    | トレードオフ、インセンティブなど (2) | 経済学の基本的な考え方を学びます。                   |
| 4    | 市場における需要と供給：需要       | 需要と供給曲線について解説します。                   |
| 5    | 市場における需要と供給：供給       | 供給と供給曲線について解説します。                   |
| 6    | 市場における需要と供給：需要と供給、均衡 | 市場が持つ機能について解説します。                   |
| 7    | 需要、供給、政府の政策：価格規制 (1) | 価格規制とは何か、価格規制により、市場に何が生じるのか解説します。   |
| 8    | 需要、供給、政府の政策：価格規制 (2) | 価格規制とは何か、価格規制により、市場に何が生じるのか解説します。   |
| 9    | 需要、供給、及び政府の政策：税金 (1) | 課税の役割について解説します。                     |
| 10   | 需要、供給、及び政府の政策：税金 (2) | 課税の役割について解説します。                     |
| 11   | 弾力性：需要と供給の価格弾力性 (1)  | 価格弾力性について解説します。                     |
| 12   | 弾力性：需要と供給の価格弾力性 (2)  | 価格弾力性と曲線の関係について解説します。               |
| 13   | 消費者余剰・生産者余剰・総余剰 (1)  | 余剰について解説します。                        |
| 14   | 消費者余剰・生産者余剰・総余剰 (2)  | 余剰について解説します。                        |
| 15   | まとめ                  | この授業で解説した内容の総括を行います。                |

|                      |  |
|----------------------|--|
| 定期試験                 | 授業内容に基づいた記述式の筆記試験を行う予定です。  |
| 授業時間外学習              | 1-14回：参考文献を使い進捗の範囲を通読し、要点を整理する。<br>毎回の授業の予習・復習として、60分程度を目安に、自己の学習を |
| 評価方法                 | 授業貢献度と課題を40%、期末試験を60%として総合点により評価します。<br>授業内において、出題した課題の返却を予定しています。 |
| 使用する教科書 (必ず購入してください) | 必要に応じて資料を配布します。  |
| 参考文献                 | マンキュー『入門経済学』3版 東洋経済<br>スティグリッツ・ウォルシュ『入門経済学』4版 東洋経済                 |